一冊の魅力伝える言葉

杉並で「本の帯アイデア賞」

小学生らが応募 19日まで中央図書館で作品展

オリジナルの「本の帯」を作って、自分のお気に入りの一冊の魅力を伝えよう！。杉並区内の子どもたちから募った「すぎなみ本の帯アイデア賞」の受賞作品展が、同区荻窪三の区立中央図書館で開かれている。十九日まで。入場無料。（中沢穣）

本の帯アイデア賞の展示＝杉並区荻窪の区立中央図書館で

〝本の帯〟賞は、子どもたちに本に親しんでもらおうと、二〇〇四年から始まった。小学生から十八歳を対象に作品を募ったところ、読書離れの傾向にもかかわらず七百四点の応募があった。「今年は、小説だけでなく、いろいろな本について作品が寄せられた。広辞苑の帯を作った人もいた。コンピューターグラフィックスを使った作品も初めて出現した」という。

審査委員長は同区内に住むコラムニスト泉麻人さん。ほかにコピーライターや絵本作家などが審査委員を務めた。最高賞のアイデア大賞に選ばれたのは、女子美術大学付属中学二年の李睿智さんの作品。母娘の葛藤を描いた小説「ハッピーバースデー」に、「僕も泣いた！」というコピーと大きな泣き顔の写真をあしらった。審査委員からは「泣き顔の写真がインパクトがあり、手に取りたくなる」と評価された。

計三十点の入賞作が選ばれ、広辞苑の帯を作った作品に審査員特別賞が贈られた。泉麻人さんは「作品のアイデアやセンスに感心した。中には細かくて読みづらい文章もあった。文章全体の見せ方にも気を配って」とやや辛口のコメントを寄せている。

アイデア大賞を受けたハッピーバースデーの帯

伝統のボロ市始まる

世田谷

十六世紀の楽市を起源にする「世田谷のボロ市」が十五日、世田谷区世田谷一の通称「ボロ市通り」で始まった。百五十の露店が並ぶ通りは、朝から買い物客で埋め尽くされた。一日二十万～三十万人の人出があるという。

ボロ市を主催する「せたがやボロ市保存会」（会長・大場信秀世田谷信用金庫理事長）が通りの中ほどに構える文化財に指定された。開催日は毎年固定で、十五日以降は十六日と来年一月十五、十六両日。午前九時～午後九時。東急世田谷線の世田谷・上町両駅から徒歩三分。（増田恵美子）

に庶民的な雰囲気の中で買い物を楽しんでもらいながら、地元の貴重な伝統行事を守っていきたい」と話していた。

ボロ市は二〇〇七年には都内最古級の季節市として、都無形民俗

外環道の必要性 政府に要請一致

促進連絡会議

東京外郭環状道路（外環道）の整備促進を求める超党派の都議会議員連盟と、東京商工会議所など経済団体でつくる整備促進連絡会議が十五日、都議会で意見交換会を開き、政府に外環道の必要性を訴えていくことで一致した。

国の来年度予算に整備費を盛り込ませる狙い。議連の遠藤衛会長（自民）は「政権が代わっても、民主、自民、公明がスクラムを組んで予算獲得に向けて全力で取り組む」とあいさつ。田中良議長（民主）も「外環道は国が率先して進めるべきものだ」と訴えた。

東京商工会議所の岡部義裕常務理事は「国際競争力を高めるために最も重要な道路。早期開通を望む」とアピール。両団体で「用地買収など必要な事業費を確保するよう強く求める」とする決議文を、関係閣僚議員に提出することを決めた。

外環道は国の本年度補正予算で七十一億円が計上されたが、民主党政権の補正見直しで測量費などを除く六十六億円が執行停止となった。

スカイツリーに水族館

併設施設に 2012年春開業目指す

東武鉄道は十五日、墨田区に建設中の「東京スカイツリー」に併設する商業施設に、水族館とプラネタリウムを開設すると発表した。二〇一二年春の開業予定で、スカイツリーとともに気軽に楽しめる観光スポットになりそうだ。

水族館は、スカイツリーの西側にできる商業施設の五～六階に入る。オリックス不動産（東京）が運営し、バックヤード部分を含めた面積は約七千八百平方メートル。

プラネタリウムはコニカミノルタプラネタリウム（大阪市）が運営。スカイツリーの東側に建設する商業施設の七階に入居する。星を映すドームの直径は十八メートルで、約二百二十の座席を設ける。

水族館の内部イメージ

携帯電話で合格祈願

携帯電話コンテンツを開発している「鴨船問屋」（豊島区東池袋）は、「合格祈願御守」待ち受け画面の配信を始めた。数十種類あって、インドの知恵の神様ガネーシャや、和風のお守り、励ましの言葉などがデザインされている＝写真。同社では来春に、お守りごとの合格率を調べて、どれが効果が高かったを発表するという。アドレスは、http://machiukeru.jp/

出し子の画像公開

警視庁

振り込め詐欺でだまし取った金をコンビニの現金自動預払機（ATM）から引き出したとして、警視庁は十五日、「出し子」と呼ばれる実行犯二人の画像をホームページで公開した。ともに息子を装って現金を振り込ませる「オレオレ詐欺」に関与し、現金を引き出す姿が防犯カメラに写っていたという。

警視庁によると、一人は二十代とみられる男＝写真㊤＝で、六月に新宿区で七回にわたり計四百八十五万円を引き出していた。もう一人は三十～四十代の男＝写真㊦＝で、八月に杉並区で計二百三十七万円を引き出した。

同庁はこれまでに四回、計十六人の出し子の画像を公開。寄せられた情報を端緒に一人を逮捕したほか、報道で画像が公開されていることを知った一人が出頭した。

警視庁は画像をコンビニや金融機関にも張り出し、振り込め詐欺ホットライン＝☎03（3501）2967＝で情報提供を呼び掛けている。

イセ文化基金の支援作家作品展

月島で26日まで

日米の若手現代美術作家を紹介する「イセ文化基金が支援する若手作家」展が十五日、中央区月島一のギャラリー、タマダプロジェクト・テンポラリー・コンテンポラリーで始まった＝写真。

同展は、日米の美術系大学に所属する学生を対象とした公募展「日米学生展」の受賞作家を紹介する。今後の活躍が期待される現代美術作家約五十人の作品が展示されている。二十六日まで。問い合わせは同基金＝☎03（3560）1271＝へ。

タウン

豊島

キャロルで厳かに

キャンドルを手にクリスマスキャロルを歌いながら街を歩くキャロリングが十五日、立教大（西池袋三）の学生有志によるクリスマス実行委員会の主催で行われた＝写真。

キャロリングは多くの人々とクリスマスの喜びを分かち合うイベント。学生らの聖歌隊や近所の人など約百五十人が、大学にある立教学院諸聖徒礼拝堂から池袋西口公園まで歩いた。周辺はキャンドルの明かりとキャロルの響きで、厳かな雰囲気に満ちあふれた。

練馬

未来のアニメーター

アニメや映画がどのように作られているのか、デジカメやパソコンを使って楽しく遊びながら学ぼうと、練馬区文化センター（練馬区）で、小学生とその親を対象にしたワークショップ「映像おもちゃ箱＝親子で遊ぶアニメと映画の世界」が開かれた＝写真。

計二十組の親子が参加。少しずつ変化をつけて描いた絵を一コマごとにデジカメで撮影しパソコンに入力、アニメーションを完成させた。子どもたちは自分たちが描いた絵が動きだす映像を見て大喜びしていた。